

\\ 日本初 /

# IR

I nstitutional R esearch

担当者向け  
実践プログラム  
開講

**[ 2020年1月下旬より第1期生募集受付開始 ]**

- 開講期間：2020年5月～10月（毎月1回土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施）
- 開講場所：山形大学東京サテライト（東京都港区芝浦3-3-6 CIC 609号室）※JR田町駅 徒歩1分
- 募集人数：7名程度（書類審査等による選考あり）

→ 第2期は2020年11月より山形大学にて開講予定

**国内外**を問わず、高等教育機関を取り巻く環境は厳しさを増しています。特に、客観的なエビデンスや効果検証に基づく大学経営や教育の質保証が強く求められるようになっていきます。米国の大学では、IR (Institutional Research) 部門が学内外のデータを収集・分析し、大学における意思決定や継続的改善を支援しています。また、一部の大学では、IRの人材育成を目的とした学位プログラム（博士課程、修士課程）や非学位プログラム（履修証明プログラム）が開設され、修了生は、IRやIE (Institutional Effectiveness) 部門のディレクター、リサーチアナリスト、アセスメントアナリスト等として大学経営や教育改善を支えていることが知られています。

**山形大学**では、国立大学で初めてエンロールメント・マネジメントに取り組む等、2007年からIR活動を展開してきました。その10年以上に渡る取り組みの中で蓄積したノウハウと、米国で実践されているIR人材育成のエッセンスを参考に、日本の大学におけるIRの文脈に合わせた「IR実践プログラム」を開講します。本プログラムは、学校教育法第105条に基づいて開設する「履修証明プログラム」です。IR業務の専門性を高めるための教育を体系的に提供し、修了者には、学長名による「履修証明書」を交付します。

※IRとは…客観的なデータ分析に基づいた大学における諸活動の効果検証及び、情報提供等を通じた大学の意思決定又は業務の継続的改善を支援する活動・機能のこと

## IR担当者向け実践プログラム4つのポイント

# 01

### 日本初のIR履修証明プログラム

大学等の高等教育機関に勤務している方を対象に開講する、IRに特化した日本初の履修証明プログラムです。修了者には、学校教育法に基づき学長名による「履修証明書」を交付します。

# 02

### 東京と山形の2会場が開講

第1サイクル(年度前期)には東京都内、第2サイクル(年度後期)には山形大学の2会場が開講します。内容は同一ですので、受講しやすい場所や期間をお選びいただけます。

# 03

### 前期と後期の年間2サイクル開講

第1サイクル(年度前期)と第2サイクル(年度後期)の年間2サイクル開講により、業務の都合等で欠席された受講回がある場合でも、翌期に欠席回を受講することができます。

# 04

### 現場経験豊富な講師陣による指導

国内外の様々な高等教育関係機関で経験を積み重ねた講師陣となっています。より現場に即した指導により、専門性を高めることができます。ゲスト講師による事例紹介も予定しています。

業務の都合等で講義を欠席した場合、第1サイクル(年度前期)の受講生は同年度の第2サイクル(年度後期)に、第2サイクル(年度後期)の受講生は翌年度の第1サイクル(年度前期)に対応する欠席回を受講できます。

会場  
2

## YAMAGATA

●第2サイクル(年度後期)

期間／11月～2月

(4ヶ月・約3週おきに1回)

場所／山形大学 小白川キャンパス

2会場  
2サイクル  
開講

### ■総時間数：60時間

※加えて、授業外課題等があります。

※土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施します。

土曜日 《4.5時間》	日曜日 《5.5時間》
—	日1 9:00-10:30
—	日2 10:40-12:10
—	～昼食休憩～
土1 13:00-14:30	日3 13:00-14:30
土2 14:40-16:10	日4 14:40-15:40
土3 16:20-17:50	

会場  
1

## TOKYO

●第1サイクル(年度前期)

期間／5月～10月(6ヶ月・毎月1回)

場所／山形大学 東京サテライト(CIC)

# STAFF

## ■本プログラムの到達目標

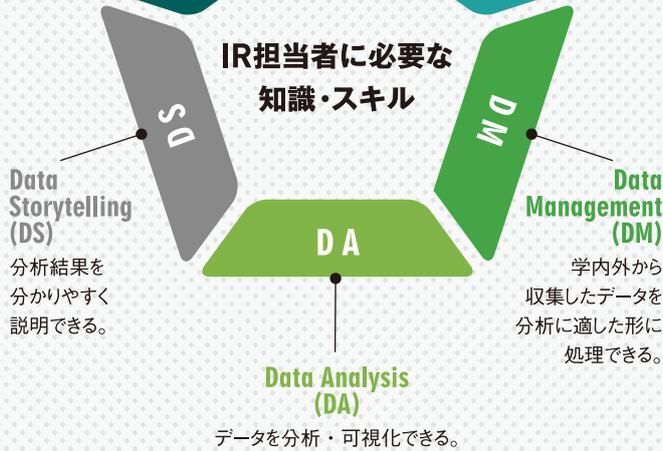
本プログラムでは、IR担当者に必要な5つの要素(高等教育機関を取り巻く文脈、アセスメント、データマネジメント、データ分析、情報提供)に関する基礎的な知識・スキルの習得を目標としています。

### Contextual Knowledge(CK)

大学における教育研究や経営等の諸活動について理解できる。

### Assessment(AS)

大学における諸活動の効果検証を実践できる。



### Data Storytelling (DS)

分析結果を分かりやすく説明できる。

### Data Management (DM)

学内外から収集したデータを分析に適した形に処理できる。

### Data Analysis (DA)

データを分析・可視化できる。

ディレクター & 主担当講師 (山形大学 学術研究院 教授)  
**藤原 宏司 Koji Fujiwara**

専門はIRと応用統計学。米国の大学でIR及び評価対応業務に従事。2016年8月から現職。現職ではBIを活用したIRシステムの構築等を担当。フロリダ州立大学大学院IR履修証明プログラム修了。



コーディネーター & 主担当講師 (山形大学 学術研究院 教授)  
**浅野 茂 Shigeru Asano**

専門は経営学。大学及び評価機関双方で大学評価関連業務に従事。2015年4月から現職。現職では大学評価、IR及び質保証業務を担当。学外では中教審教学マネジメント特別委員会委員等として活動。



アドバイザー & 副担当講師 (明治大学 教学企画事務室)  
**山本 幸一 Koichi Yamamoto**

大学院の専攻は公共経営学、政策評価。大学職員として中長期計画、大学評価、IRオフィスの設計、BIを用いたレポート作成を担当。学外では文部科学省や大学基準協会の各種調査活動に従事。



アドバイザー (大阪大学 高等教育・入試研究開発センター 特任教授)  
**川嶋 太津夫 Tatsuo Kawashima**

専門は比較高等教育論。大学における学習成果測定の必要性をいち早く提唱。現職では高大接続、入試改革等の調査研究及び支援業務に従事。学外では中教審大学教育部会臨時委員等として活動。



## ■カリキュラム・マップ

カリキュラム・マップとは、本プログラムにおける到達目標が、各科目を通じてどのように涵養(導入→応用・強化→熟達)されていくのかを視覚化したものです。

I = Introduced 導入科目      M = Mastered 熟達科目  
R = Reinforced 応用・強化科目      A = Assessed 達成度合いを評価する科目

科目区分	科目名	到達目標				
		CK	AS	DM	DA	DS
IR入門	IR入門	I				
IR応用	IRとIE(1)		I			
	IRとIE(2)		R			
データマネジメント & 分析	データマネジメント入門(1)			I		
	データマネジメント入門(2)			I		
	MS Power QueryによるDM実践			R		
	データマネジメント実践			R		
	データマネジメント演習			R		
	データマネジメント応用			R		
	IRデータ分析入門				I	
	MS Power BIによるデータの可視化				R	
	IRデータ分析応用				R	
	レポートニング入門(1)					I
レポートニング入門(2)					I	
レポートニング実践(1)					R	
レポートニング実践(2)					R	
レポートニング応用					R	
IR実践	IR実践セミナー	R				
	IE実践セミナー		R			
	IRプロジェクト(1)	M,A	M,A	M,A	M,A	M
	IRプロジェクト(2)	A	A	A	A	A

# 2020年度 第1サイクル(年度前期) 募集要項

## 募集対象

以下のいずれかを満たす方

- ① 現在、大学等の高等教育関係機関に勤務し、IR関連の業務経験が2年未満の方
- ② 現在、大学等の高等教育関係機関に勤務し、今後、IR関連の業務に就くことを希望されている方

## 応募資格

以下のいずれも満たす方

- ① 高等学校卒業者等の大学入学資格を有している方
- ② 現在、大学等の高等教育機関で勤務している方

## 定員

7名程度 ※受講者が一定数に満たない場合は、講座を中止することがあります。

## 履修期間 総時間数

- ① 履修期間：2020年5月～2020年10月
- ② 総時間数：60時間(土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施)

## 教育課程 授業方法

### (1) 教育課程

IR担当者に必要な5つの要素における基礎的な知識・スキルの習得を目標としたカリキュラムを編成しています。

### (2) 授業方法

- ① 講義と実習により構成されています。実習には、表計算ソフトやBIツールを用いたデータマネジメント、データの分析・可視化、分析結果の報告(レポート作成、プレゼンテーション)等があります。この他、授業時間外に課題を課します。
  - ② レポートの提出、講師と受講生間のコミュニケーションを目的として、共通のアプリケーションを用います。
- ※各授業回には、Windows環境を有するノートパソコンをご持参ください。

## 修了要件

- ① 履修期間内に、すべての講習(合計60時間)を履修し、すべての課題に合格すること

※勤務都合等による未達成科目については、翌期(連続する2期以内)までに履修・合格した場合のみ科目修了を認め、全ての修了要件を達成後、履修証明書を交付します。

- ② IRプロジェクト(1)および(2)について、一定以上の成績を修めること
- ③ 山形大学IR担当者向け実践プログラム運営委員会による認定を受けること

## 受講料 その他の費用

受講料：150,000円

なお、支払われた受講料は、講座の中止以外の理由では返還しませんのでご了承ください。

## 出願書類 出願方法

### (1) 出願書類

- ① 履修申込書(WEBからの申し込み)
  - ② 最終学歴を証する各種証明書(卒業証明書等)
  - ③ 高等教育機関に在職していることを証する各種証明書(在職証明書等)
- ※旧姓の方は、戸籍抄本を添付ください。

### (2) 出願方法

出願書類①をWEBサイトから作成し、出願書類②および③については、パスワード保護を施したPDFファイルを、WEBサイトからアップロードしてください。PDFファイルのパスワードは、指定するメールアドレスにお知らせください。

申し込みWEBサイトについては、2020年1月中旬までに山形大学次世代形成・評価開発機構IR部門(OIRE)のホームページ内で告知します。

【山形大学次世代形成・評価開発機構IR部門(OIRE) <https://ir.yamagata-u.ac.jp/>】

## 選考方法 及び履修許可

- ① 本プログラムの到達目標に照らして、書類に基づき選考を行います。
- ② 選考の結果および納付方法等については、電子メールにてお知らせします。
- ③ 指定された期間に受講手続きを行った合格者に対して、履修を許可します。

## 出願スケジュール

- (1) 出願期間 2020年1月25日(土)～~~3月15日(日)~~3月29日(日)
- (2) 選考結果通知 2020年3月31日(火)
- (3) 受講手続き期間・受講料納入期間 2020年4月1日(水)～2020年4月20日(月)

## 単位について

本プログラム修了による単位授与はありません。

## 実施体制

本プログラムは、山形大学IR担当者向け実践プログラム運営委員会によって運営されます。

お問い合わせ先

山形大学エンrollment・マネジメント部EM企画課

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 TEL：023-628-4063 FAX：023-628-4144

E-mail：ir@jm.kj.yamagata-u.ac.jp <https://ir.yamagata-u.ac.jp>

